

加藤のコラム

第12号（2016年7月）

顔・服装・体型・性格すべてにばっとならない私ですが、実はけっこう見た目を気にしていることがひとつだけあります。外見の美しさで勝負できるような素地をまったく持ち合わせていないので、いわゆる外見に関しての自分への期待値は0に設定しています。では、何を気にしているのか？ それは



人相です。オレの人相大丈夫か？ ってこと。

どなたがおっしゃったかはわかりませんが、先日、こんな言葉を目にしました。

「性格は顔に出る、生活は体型に出る、本音は仕草に出る、感情は声に出る、美意識は爪に出る、清潔感髪に出る、落ち着きのなさは足に出る」

なかなか耳の痛いお言葉です。

そして、第16代アメリカ大統領リンカーンのこんなエピソード。

ある人を内閣に入れたらどうかと薦められたとき、リンカーンは「彼の顔が気に入らないからいやだ」と返しました。それを聞いて推薦した人が、「顔は生まれつきなんだから、彼に責任はない」と反論したところ、リンカーンは、

「40歳を過ぎたら自分の顔に責任を持つべきだ

(Every man over forty is responsible for his face.) 」と言ったそう。

リンカーンが人を見た目で判断していたのかと言えば、そうでもないと思います。リンカーンが言いたかったのは、顔そのものではなくて、顔に表れる表情や雰囲気のことだったのでしょ。

40歳は十数年前に過ぎました。この歳なのにこの人相でほんとうにいいのか、右上の写真を改めて眺めても不安がよぎります。いつかだれかに「加藤さん、人相いいですよ」と言ってもらうことを人生の目標にしたいと思います。

目標と言えば…。第9号のコラムで、2016年の目標を「体重70kgを下回る」として発表しておりました。そのときの体重は74kg。今ですね、75kg。増えてます。困りました。いったい自分は何をやっているのでしょうか。

暦は7月。今年も残すところあと6か月となりました。このままではよい年を迎えられそうにありません。がんばりたいと思います。こうして書かないとがんばれない気がするので、書いてしまいました。